

津市健康づくり推進懇話会の活動紹介

津市健康づくり推進懇話会は、市内の医療機関や企業、保育・教育関係、健康づくりや子育て支援を行う団体から推薦された20人の委員で構成されています。

津市第3次健康づくり計画の大目標である「こころ豊かに楽しく元気に暮らそう」の実現を目指して、計画の重点世代である子育て世代や働く世代に対する取り組み、健康づくり推進体制についての協議など、市民の皆さんの健康づくりを健康づくり課職員と共に進めています。

今年度は、計画の6つの強化目標「朝ごはん」「運

動」「たばこ」「減塩」「適正体重」「健診」のうち「減塩」についてさらに深く掘り下げ、具体的で分かりやすい啓発について検討を行っています。



会議の様子



健康まつりでの啓発の様子

風しん予防接種の費用を助成

妊娠初期の妊婦が感染することによる赤ちゃんの先天性風しん症候群の発生を防ぐため、風しんの予防接種を受ける場合に、費用を助成します。

対象 津市に住民票があり、以下に該当する人

- ①妊娠を予定または希望している女性で風しん抗体価が低い人
 - ②妊娠を予定または希望している風しん抗体価が低い女性の同居者で、風しん抗体価が低い人
 - ③風しん抗体価が低い妊婦の同居者
- ※風しん抗体価が低い=HI法32倍未満またはEIA法8.0未満など
- ※「同居」とは接種日時点の住民基本台帳により住所が同一であること
- ※風しん抗体検査については津保健所健康増進課☎223-5184へお問い合わせください。

助成回数 1人につき1回

助成額 接種費用の2分の1(上限5,000円)

※生活保護受給者は接種費用の全額(被保護証明書が必要)

助成対象期間 4月1日(月)~来年3月31日(火)

申請方法 健康づくり課または各保健センターの窓口で申請を受け付けています。郵送で申請する場合は、事前に健康づくり課へ連絡の上、申請してください。

必要書類

- 風しん予防接種費用助成申請書(各保健センターにあるほか津市ホームページからもダウンロードできます)
 - 接種の際の領収書原本(被接種者名、予防接種名、接種日、支払った金額、医療機関名が分かるもの)
 - 助成金の振込口座を確認できる書類
 - 対象者が①の場合は、接種者本人の風しん抗体価が低いことが分かる書類
 - 対象者が②の場合は、妊娠を予定または希望している女性と接種者本人の風しん抗体価が低いことが分かる書類
 - 対象者が③の場合は、妊婦の母子健康手帳および母子保健のしおり
- ※窓口で申請する際は、印鑑(スタンプ印は不可)も持参してください。

申請期限 来年3月31日(火)必着



「子宮頸がん」ってどんな病気？

女性なら誰でもかかる可能性のある病気で、20~30歳代の若い女性に増えているがんです。子宮頸がんは、皮膚や粘膜の接触などによるヒトパピローマウイルス(HPV)が関連し、女性の80%以上が一生のうち一度は感染するといわれています。多くは自然に排除されますが、中には子宮頸がんを発症する場合があります。

子宮頸がんは、初期の段階では、あまり症状が見られません。しかし、正常な細胞ががん細胞になる前の変異(異型細胞)を検診で診断でき、早期に発見しやすいがんです。

20歳を
過ぎたら

2年に1回はがん検診を受けましょう！

津市子宮がん検診の
詳しい情報はこちら
でご確認ください。



HP 津市がん検診

検索